

地震に自信を(木造住宅耐震化強化)

～ しらかわで あんきに子育て あんきに暮らす ～

1. 地域課題

この20年間で町が実施した耐震診断は50件にとどまり、実際に改修工事まで至ったのはわずか4件という非常に低い水準です。

耐震化が進まない背景には、補助制度があっても自己負担が高額になるケースが多く、特に高齢者や一人暮らしの世帯にとっては経済的・心理的な負担が大きな障壁となっています。また、制度の認知不足や地震への備えに対する理解の浅さがあります。

今後は、費用面の支援強化に加え、住民へのわかりやすい情報発信や手続きの簡素化など、より利用しやすい制度設計が求められています。安心して耐震化に取り組める環境づくりが急務です。

2. 施策の内容(課題解決につながる施策)

タイトル	地域連携による低コスト工法普及
概要	今まで国・県からの補助金により、年間5件程度の木造住宅無料耐震診断を実施してきましたが、診断件数は極端に少なく、町内の木造住宅が大地震に耐えられる状況なのか把握できていません。 このため、常時居住する住宅(空き家を除き)など、耐震化が必要な家屋を調査した上で、木造建築物の耐震化を図ります。 併せて、耐震化に向けた工法(低コスト耐震工法)についても研究、実証を行います。 

3. 寄附金の使い道

項目	活用内容	想定金額(例)
低コスト耐震工法の研究～実証	①基礎調査・計画策定 400万円 住宅実態調査、耐震化率分析、対象抽出 ②技術支援・工法選定 300万円 大学・建築専門家との連携、マニュアル作成 ③工務店等への技術研修 300万円 講習会開催(数回)、施工研修、教材作成 ④モデル施工(実証工事) 400万円 工務店が試行施工、効果・コスト検証	1,400万円

4. お問い合わせ先

白川町役場 振興課 魅力発信係

電話0574-72-1311内線234

メールchiiki@town.shirakawa.lg.jp

【企業版ふるさと納税】